

大学院特別講義
(頭頸部心身医学分野)

「ヒトとロボットの心」

慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

前野 隆司 教授

人の意識のクオリア（現象的な意識）は一般的に無意識的な並列分散演算を統合する役割を担っていると考えられる。しかし、そうだとすると結びつけ問題の困難が生じてしまう。一方、講演者は、意識は無意識化で統合された結果の直列モデルを構築し、これに基づき仮想的意識体験を行い、これをエピソード記憶に流し込むための機能である、という立場に立つ。リベットやガザニガの実験結果を例に、以上の仮説について述べる。

平成 20 年 7 月 3 日（木） 17 時 00 分 ～ 18 時 30 分

1 号館 6 F 歯学部演習室 3, 4（図書館の上）



